

商品の特徴

この時計は家庭用電源（AC100V）で専用充電器を用いて充電し、フル充電（約36時間）で約4ヶ月駆動する、電池交換を必要としない充電時計です。

ご使用になる前に

この時計は工場出荷時より放電して電池を消耗していますので、ご使用になる前に取扱説明書の「充電について」をよくお読みの上充電してください。

製品仕様

時計

水晶発振周波数	32,768Hz	作動温度範囲	-5℃～+55℃
時間精度	常温携帯(+5℃～+35℃)において 平均月差±20秒以内 充電時は室温により精度が若干プラス・マイナスすることがあります。	保管温度範囲	-10℃～+60℃
		付加機能	過充電防止機能・充電警告表示機能・充電状態表示機能
アラーム	4本※バイブレーションとサウンド(電子音)の選択が可能	最大充電量	約4ヶ月使用可能(フル充電時で、1日に1回の電子音およびバイブレーションアラーム、1日に1回約5秒間のELバックライト点灯) ※ただし、使用条件により電池寿命が短くなることがあります。
カウントダウンタイマー	4本※バイブレーションとサウンド(電子音)の選択が可能		
デジタル表示	現在時刻、年・月・日・曜日、 時報チャイムのON/OFF、アラーム機能、 カウントダウンタイマー機能、 電子音・バイブレーションのON/OFF、 充電状態(電池マーク)	駆動方式	ステップモーター式
		使用電池	二次電池 ML2016 1個
		使用IC(集積回路)	C/MOS-LSI

充電器

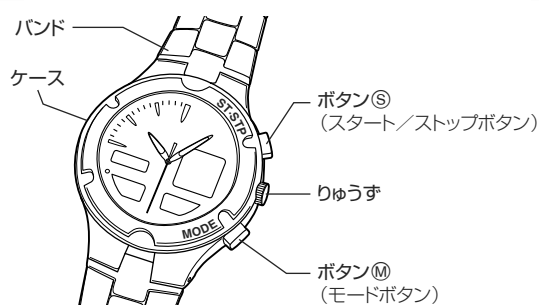
充電システム	電磁誘導方式	大きさ	スタンド: W59×L67×H72mm ACアダプタ: W51×L62×H40.5mm
電源電圧	AC100V 50/60Hz		
使用環境	屋内(風呂場、台所等高温多湿でないところ)	重さ	スタンド: 60g ACアダプタ: 230g
消費電力	1.5W(充電時)		
動作環境	0℃～40℃	材質	プラスチックABS樹脂

※ 製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

各部の名称

時 計

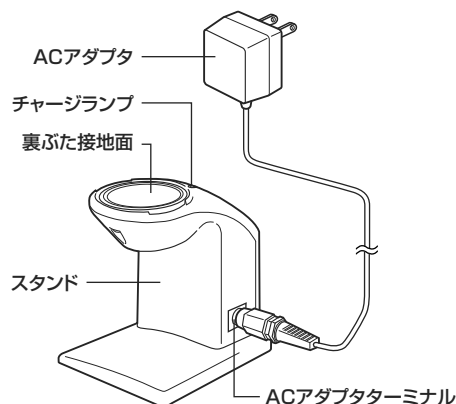
(表)



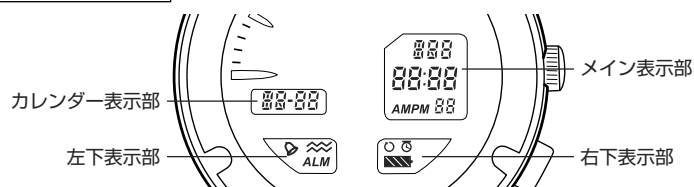
(裏)



充電器



デジタル表示部



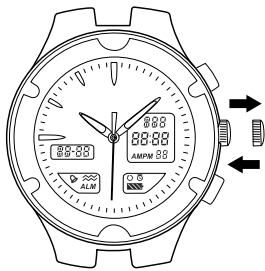
モードについて

この時計は、時刻・カレンダーモード、アラームモードおよびタイマーモードの3種類のデジタル機能モードを備えています。モードを切り替える時は、ボタン④を押します。現在のモードはカレンダー表示部に表示されます。

カレンダー表示部の表示内容	モード
カレンダー表示	時刻・カレンダーモード
AL-1、AL-2、AL-3、AL-4	アラームモード（アラーム1、アラーム2、アラーム3、アラーム4）
TR-1、TR-2、TR-3、TR-4	タイマーモード（タイマー1、タイマー2、タイマー3、タイマー4）
TR --	オールタイマーモード

※各モードについて詳しくは、取扱説明書の該当箇所をご参照ください。

アナログ表示 時刻の合わせ方



時刻合わせをする時は針を正回転に回しておよその時間に合わせ、最後に5分程度逆転させ時間合わせを行ってください。

りゅうずを引き出すと秒針が止まります。あらかじめ秒針を0秒の位置に止め、りゅうずをまわして時・分針を正しい時刻に合わせて、時報と同時にりゅうずを軽く押し込んでください。

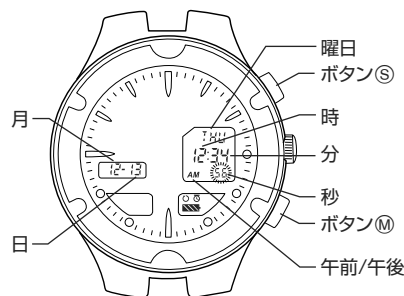
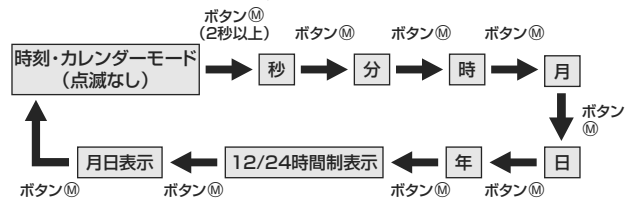
※アナログによる時刻とデジタル表示による時刻は、別々にセットします。

デジタル表示 時刻・カレンダーの合わせ方

① デジタル表示が時刻・カレンダーモードの時、ボタン④を2秒以上押し続け秒を点滅させます。点滅箇所が修正可能です。

※秒の修正時（点滅時）時報に合わせてボタン⑤を押すと、その時の秒表示が0～29の時は切り捨てられ、30～59の時には繰り上がって分が1進みます。

② 点滅箇所はボタン④を押すごとに以下の順序で移動しますので、修正したい箇所でボタン⑤を押して合わせます。



※ボタン⑤を押し続けると早送りになります。

※分の設定は時に影響しません。

※曜日は設定する日付に応じて自動的に表示されます。

※12/24時間制表示や、月日表示の切替は、ボタン⑤で行います。

※12時間制表示のご利用時は、メイン表示部のAM/PM表示に注意して下さい。

※3分間放置すると点滅が止まり時刻・カレンダーモードに戻ります。

※西暦2001年～2049年まではフルオートカレンダーです。

※12/24時間制表示の設定はアラームモードにも適用されます。

時報チャイムのON/OFF設定

時報チャイムをONにすると、1時間ごとに時報チャイムが鳴ります。

① 時刻・カレンダーモードの時ボタン⑤を押し続けると、左下表示部に時報チャイムマークが表示され時報チャイムONに設定されます。

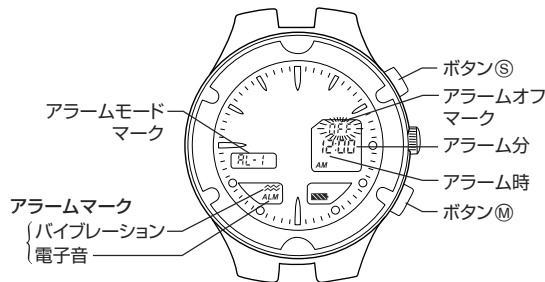
② 時報チャイムをOFFにする時は、時刻・カレンダーモードで時報チャイムマークが消えるまでボタン⑤を押し続けます。

■アラームの使い方

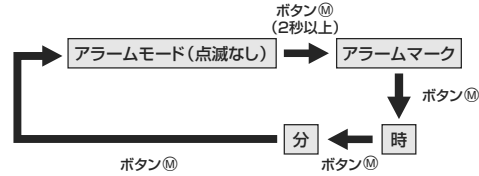
アラームは4つのアラーム（AL-1～AL-4）を設定することが出来ます。また、電子音がバイブレーションかを選択することが出来ます。

■アラームの設定方法

- ① ボタン M を押してアラームモードにします。
 - ② カレンダー表示部に現在選択されているアラーム（AL-1～AL-4）が表示されますので、ボタン S を押して4つのアラーム番号から設定したいアラーム番号を表示させます。
 - ③ ボタン M を2秒以上押し続けアラームマークを点滅させます。ボタン S を押してアラームオフ・バイブレーション・電子音を切り替えて設定します。
- ※アラームオフ（OFF）の表示はメイン表示部のアラーム時刻表示の上に現れ、電子音（ALM）とバイブレーション（ $\approx$ ）のマークは左下表示部に現れます。



- ④ 点滅箇所はボタン M を押すごとに以下の順序で移動しますので、設定したい箇所ボタン S を押して合わせます。



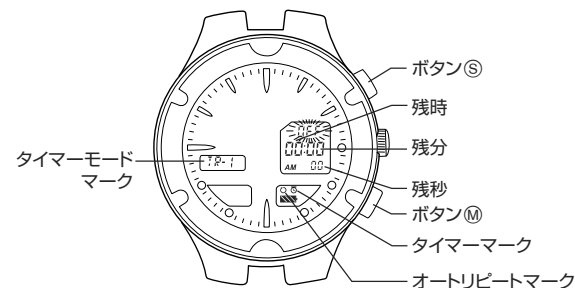
- ※ ボタン S を押し続けると時・分の設定を早送りすることが出来ます。
- ※ 分の設定が時の設定に影響を与えることはありません。
- ※ 3分間放置すると点滅が止まりアラームモードに戻ります。
- ※ 12時間制表示のご利用時は、メイン表示部のAM/PM表示に注意して下さい。
- ※ 電子音がバイブレーションが設定されている場合、設定時刻になるとアラーム動作がおこり、アラーム番号（AL-1～AL-4）が点滅します。
- ※ アラーム動作（電子音あるいはバイブレーション）を停止させる場合は、ボタン S またはボタン M を押して下さい。

■タイマーについて

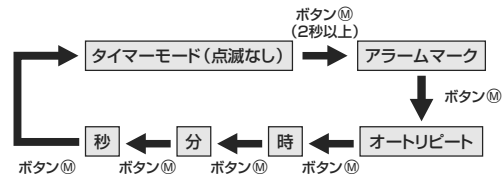
この時計は、4つのカウントダウンタイマー（TR-1～TR-4）を設定することが出来ます。これらのタイマーはそれぞれのスタート時間を設定することが出来、カウントダウンの終了時に停止させたりあるいはスタート時間から自動的に再スタートさせたり、別々に指定することが出来ます。設定した時間を経過（タイムアップ）すると電子音がバイブレーションのいずれかで知らせることが出来ます。またタイマーのアラームをOFFにすることも出来ます。すべてのタイマーを同時にスタートさせたり、ストップさせるモードもあります。

■タイマーの設定方法

- ① ボタン M を押してオールタイマーモード以外のいずれかのタイマーモード（TR-1～TR-4）にします。
- ※ カレンダー表示部に現在選択されているタイマーモード（TR-1～TR-4）が表示されます。



- ② ボタン M を2秒以上押し続けアラームマークを点滅させます。点滅箇所はボタン M を押すごとに以下の順序で移動しますので、設定したい箇所ボタン S を押して合わせます。



- ※ アラームオフ・バイブレーション・電子音、およびオートリビート（ON/OFF）はボタン S で切り替えます。
- ※ アラームオフ（OFF）の表示はメイン表示部のタイマー時間表示の上に現れ、電子音（ALM）とバイブレーション（ $\approx$ ）のマークは左下表示部に現れます。
- ※ ボタン S を押し続けると時・分・秒の設定を早送りすることが出来ます。
- ※ 分の設定が時の設定に影響を与えることはありません。
- ※ 3分間放置すると点滅が止まりタイマーモードに戻ります。
- ※ 設定出来るタイマーの範囲は00:00:00～99:59:59です。

■TR-1、TR-2、TR-3、TR-4タイマーの使い方

- ① ボタン M を押してカウントダウンを開始したいタイマー（TR-1～TR-4）を表示します。
 - ② ボタン S を押して、タイマーのカウントダウンを開始します。
- ※ カウントダウンの進行中に時刻・カレンダーモードにすると、右下表示部のタイマーマーク（ TR ）が点滅して、カウントダウンが行われていることを知らせます。オートリビートをONにすると、オートリビートマーク（ O ）が表示されます。

■オールタイマーの使い方

- ① ボタン M を押してオールタイマーモードを表示します。
 - ② ボタン S を押して、すべてのタイマー（TR-1～TR-4）をスタートさせます。
 - ③ すべてのタイマーを停止するには、ボタン S をもう一度押します。
- ※ すべてのタイマーのカウントダウン時間を開始時間に戻す場合には、オールタイマーモードでボタン S を2秒以上押し続けます。

- ③ タイマーを停止するには、ボタン S をもう一度押します。
- ※ カウントダウン時間を開始時間に戻す場合には、ボタン S を2秒以上押し続けます。
 - ※ オートリビートをONにした状態でタイマーのアラーム動作を停止させる場合は、アラーム動作中にボタン S を押します。カウントダウンを停止させる場合は、ボタン S をもう一度押します。

- ※ 電子音がバイブレーションが設定されている場合、タイムアップになるとアラーム動作が行われ、タイマー番号（TR-1～TR-4）が点滅します。
- ※ オートリビートをONにした状態でタイマーモードを終了しても、カウントダウンは継続してアラーム動作が行われます。アラーム動作を停止させる場合は、アラーム動作中にボタン S を押します。カウントダウンを停止させる場合は、ボタン S をもう一度押します。

■ サウンド(電子音)とバイブレーション

この時計は電子音がバイブレーションのいずれかを選択することが出来ます。またアラームオフにすることも出来ます。

アラームの種類	継続時間
アラームモードの電子音	約30秒
タイマーモードの電子音	約10秒
アラームモードのバイブレーション	約25秒
タイマーモードのバイブレーション	約10秒

- 一つのアラーム動作が行われている間に別のアラームやカウントダウンが設定時間になった場合には、あとで終了したアラームまたはカウントダウンタイマーの情報が表示されます。

- アラームの種類は、電子音かバイブレーションのいずれかです。
- 充電量が低いと(レベル1)、バイブレーションの設定はすべて自動的に電子音に切り換わります。
- 電子音とバイブレーションの継続時間は左のとおりです。ボタン⑤またはボタン⑥を押せば止めることが出来ます。

- 2つのタイマーが同時にカウントダウンを終了した場合、数値が高いほうのタイマー情報が表示されます。

■ 時計の装着方法のご注意

■ バイブレーションにしてご使用の場合

- 時計をゆるめに装着すると、振動が伝わりにくくなります。時計本体が常に腕に接するように装着してください。
- 激しい運動中や、腕を震わせるような作業中には振動を感じにくくなりますのでご注意ください。

■ サウンド(電子音)にしてご使用の場合

- 時計を腕に密着させた状態で装着すると、電子音が聞き取りにくくなる場合があります。バンドは指一本入る程度の余裕を持たせて装着してください。
- 周囲の雑音等で電子音が聞き取りにくい場合は、バイブレーションに切り替えてご使用ください。

■ デジタル表示部の点灯

この時計にはELバックライトが付いており暗いときにデジタル表示部を明るくして見る事が出来ます。

ELバックライトは次の方法で点灯します。

- ボタン⑥を押しながら、2秒以内にボタン⑤を押します。

ELバックライトは約5秒間点灯します。但し、充電量が低い(レベル1)とELバックライトは約3秒間の点灯です。

■ 時計のリセットについて

時計の設定をすべて初期状態に戻したい時は、リセットすることが出来ます。

設定の種類	初期設定	設定の種類	初期設定
モード	時刻・カレンダーモード	アラーム時刻	すべて12:00AM
現在時刻	12:00:00(12時間制)	タイマー	すべて停止
日付	2001-1-1(2001年1月1日)	タイマースタート時間	すべて00:00:00
アラーム	すべてOFF	時報チャイム	OFF

■ リセットの仕方

- ①りゅうずを引き出します。
- ②ボタン⑤とボタン⑥を同時に押します。すべてのデジタル表示が消えます。
※ただし、電池マークの枠()は消えません。
- ③どちらか一方のボタンを押したままにして、もう一方のボタンを離します。

- ④時計が振動したら(約2秒間)、もう一つのボタンも離します。時計は時刻・カレンダーモードになり、デジタル表示が現れます。
- ⑤りゅうずを押戻します。

■ 充電量レベルについて

現在の電池残量は電池マーク（）によって表示されます。またこの時計は充電警告表示機能を備えていて、秒針の動きで充電量が少なくなっていることを確認することが出来ます。

電池マーク

電池マーク	表示内容
 (点滅)	レベル1 (低)
	レベル2
	レベル3
	レベル4 (フル充電)

電池マークは右下表示部に左図の4レベルで表示されます。

※充電量がレベル1になると、3回電子音が鳴ります。バイブレーションはすべて電子音の設定に変わります。

充電警告表示機能

秒 針	表示内容
1秒運針	• 充電量は良好で、通常時刻表示です。
2秒運針	• 充電量が少なくなり約48時間以内に充電することが必要です。 • 充電しないと、充電警告表示は次の段階に進みます。
4秒運針	• 充電量は極めて少なく約30分以内に充電することが必要です。 • 充電しないと、時計は停止します。
停止	• 充電量は空です。 • 機能は充電後に復帰します。

この時計は秒針の動きが変わることによって充電量が低下していることを知らせます。充電不足になりましたら速やかに充電を行ってください。

※充電警告表示の時に秒針が2秒ずつまたは4秒ずつ進んでも、時刻は正確です。

※時計が停止した場合は、充電して正常な機能が回復してから、時刻と日付を合わせ直してご使用ください。

※長期間けうずを引いた状態にすると消費電流が多くなるため早く電池が消耗します。時計を保管する時はけうずを引かないでください。

■ 充電について

充電量が残り少なくなったら充電を行ってください。少なくとも4ヶ月に1回充電を行ってください。

※フル充電には約36時間が必要です。

■ 充電の仕方

充電方法は時計の裏ぶた面を下にして、充電器に載せるだけで簡単に充電することが出来ます。

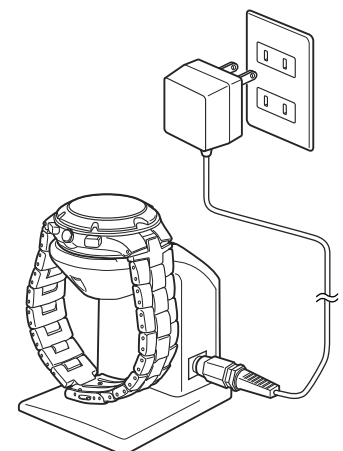
- ① ACアダプタを充電器の側面のACアダプターミナルに接続します。
- ② ACアダプタをAC100Vのコンセントに差し込んで、充電器のランプが点灯していることを確認します。
注意 電圧がAC100V以外のコンセントには接続しないでください。故障の原因になります。
- ③ ご購入後初めて充電される場合は、時計の裏ぶたから透明の保護シールを必ずはがしてください。
- ④ 時計の表面（ガラス面）を上にして、図のように時計を充電器の裏ぶた接地面に載せます。
- ⑤ 右下表示部の電池マーク（）を確認します。マークが左から右に点滅している場合は、充電が行われていることを示しています。
 - 電池マークが点滅表示しない場合
 - 時計の裏ぶたに透明の保護シールがないことを確認してください。
 - 時計と充電器の裏ぶた接地面の間に汚れやホコリ、その他の異物がないことを確認し、あれば取り除きます。
 - バンドがじゃまして時計の裏ぶたと充電器の裏ぶた接地面の間にスキ間出来るような位置になっていないことを確認してください。
- ⑥ 充電が完全に行われると、電池マーク全体が点滅します。
- ⑦ 充電が完了したら、時計を充電器から外して、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

※時計と充電器は充電中に若干暖かくなりますが、異常ではありません。

※充電器はこの時計以外にはご使用にならないでください。

※充電器をご使用でない時は、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

AC100Vコンセント



■ 充電量レベルについて

現在の電池残量は電池マーク（）によって表示されます。またこの時計は充電警告表示機能を備えていて、秒針の動きで充電量が少なくなっていることを確認することが出来ます。

電池マーク

電池マーク	表示内容
 (点滅)	レベル1 (低)
	レベル2
	レベル3
	レベル4 (フル充電)

電池マークは右下表示部に左図の4レベルで表示されます。

※充電量がレベル1になると、3回電子音が鳴ります。バイブレーションはすべて電子音の設定に変わります。

充電警告表示機能

秒 針	表示内容
1秒運針	• 充電量は良好で、通常時刻表示です。
2秒運針	• 充電量が少なくなり約48時間以内に充電することが必要です。 • 充電しないと、充電警告表示は次の段階に進みます。
4秒運針	• 充電量は極めて少なく約30分以内に充電することが必要です。 • 充電しないと、時計は停止します。
停止	• 充電量は空です。 • 機能は充電後に復帰します。

この時計は秒針の動きが変わることによって充電量が低下していることを知らせます。充電不足になりましたら速やかに充電を行ってください。

※充電警告表示の時に秒針が2秒ずつまたは4秒ずつ進んでも、時刻は正確です。

※時計が停止した場合は、充電して正常な機能が回復してから、時刻と日付を合わせ直してご使用ください。

※長期間りゅうずを引いた状態にすると消費電流が多くなるため早く電池が消耗します。時計を保管する時はりゅうずを引かないでください。

■ 充電について

充電量が残り少なくなったら充電を行ってください。少なくとも4ヶ月に1回充電を行ってください。

※フル充電には約36時間が必要です。

■ 充電の仕方

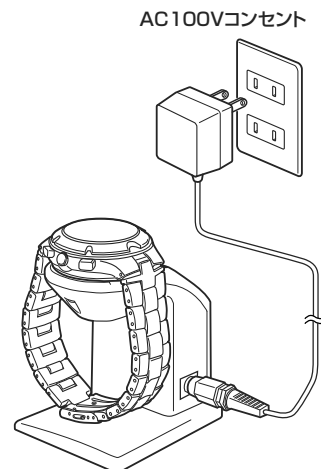
充電方法は時計の裏ぶた面を下にして、充電器に載せるだけで簡単に充電することが出来ます。

- ① ACアダプタを充電器の側面のACアダプタターミナルに接続します。
- ② ACアダプタをAC100Vのコンセントに差し込んで、充電器のランプが点灯していることを確認します。
注意 電圧がAC100V以外のコンセントには接続しないでください。故障の原因になります。
- ③ ご購入後初めて充電される場合は、時計の裏ぶたから透明の保護シールを必ずはがしてください。
- ④ 時計の表面（ガラス面）を上にして、図のように時計を充電器の裏ぶた接地面に載せます。
- ⑤ 右下表示部の電池マーク（）を確認します。マークが左から右に点滅している場合は、充電が行われていることを示しています。
 - 電池マークが点滅表示しない場合
 - 時計の裏ぶたに透明の保護シールがないことを確認してください。
 - 時計と充電器の裏ぶた接地面の間に汚れやホコリ、その他の異物がないことを確認し、あれば取り除きます。
 - バンドがじゃまして時計の裏ぶたと充電器の裏ぶた接地面の間にスキ間が出来るような位置になっていないことを確認してください。
- ⑥ 充電が完全に行われると、電池マーク全体が点滅します。
- ⑦ 充電が完了したら、時計を充電器から外して、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

※ 時計と充電器は充電中に若干暖かくなりますが、異常ではありません。

※ 充電器はこの時計以外にはご使用にならないでください。

※ 充電器をご使用でない時は、ACアダプタをコンセントから抜いてください。



■ 二次電池の取り扱いについて

この時計に使われている二次電池は充電・放電を繰り返して行えるため、一般電池のような定期的な電池交換の必要がありません。

二次電池の取り扱いについて



※お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。

※やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため幼児の手の届かない所に保管してください。

※二次電池を万が一飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談して治療を受けてください。

この時計に使われている二次電池以外の電池は絶対に使用しないでください。無理に水銀電池など他の種類の電池を使い万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険がありますので、絶対におやめください。

※二次電池を他社の充電時計または一般の時計には使用しないでください。